



健康の掲示板

弘前市保健センター（野田2丁目） ☎ 37・3750

母子保健

母子健康手帳の持参を。場所は弘前市保健センター(各指定医療機関での個別健診を除く)で、料金は無料です。なお、発熱など体調不良の場合は、次回に受診してください。★は対象者に健康診査票を送付します。

名称	とき	対象・定員	申込先
乳幼児の健康診査	各指定医療機関での個別健診		
4か月児★ 7か月児★			
1歳6か月児	9月27日・28日/ 受付=午後0時半～1時半	平成28年3月生まれ	
3歳児	9月6日・7日/ 受付=午後0時半～1時半	平成26年2月生まれ	
1歳児歯科	9月13日・14日/ 受付=午後0時半～1時	平成28年9月生まれ	
2歳児歯科★	対象=平成27年3月生まれ…各指定歯科医療機関での個別健診		
離乳食教室	9月22日(金)、午後1時 ～2時半/受付=午後0時 半～1時 離乳食講話/グループレッスン/育児相談 ※母子健康手帳・バスタオル・おむつ・ミルクの持参を。	平成29年4月生まれ =25組(先着順)	9月5日から 弘前市保健セ ンターへ。

検診

市の各種検診は、年度内に1回受診できます。

名称	会場	とき	対象・定員	料金	問い合わせ・申込先
セット検診	医師会健診センター	通年(9月5日～平成30 年3月15日)	40歳以上の市民(職場で 受診できる人を除く) ※定員になり次第締切。		弘前市医師会健診セン ター検診課(☎フリー ダイヤル0120・050・ 489、平日…午前8時 ～午後4時(正午～午 後1時を除く))へ。
胃・肺・大腸がん検診(50 歳以上は前立腺がん検診も 受診可(別途500円))			1,900円(市の国保加入 者は950円、70歳以上の 人は無料)		
複合健診	ヒロロ	9月8日～11月10日の 毎月第2・4金曜日	40歳以上の市民(職場で 受診できる人を除く) ※特定健診および後期高齢者 健診とがん検診セットの場合 のみ受診可。定員になり次第 締切。		受診希望日の1週間前 までに、健康づくり推 進課(弘前市保健セン ター内、土・日曜日、 祝日を除く午前8時半 ～午後5時)へ。 ※複合健診(ヒロロ)は、 申込人数が10人に達し ない場合、受診日の変更 をお願いすることがあり ます。
特定健診・後期高齢者健診 (無料)/胃・肺・大腸が ん検診(50歳以上は前立 腺がん検診も受診可(別途 500円))			1,900円(市の国保加入 者は950円、70歳以上の 人は無料)		
女性の健康診査	医師会健診センター	9月7日・16日・28日、 10月4日・7日 ※9月28日は託児あり(乳 幼児10人まで)。次月以降 の日程は問い合わせを。	18歳～39歳の主婦や自 営業の女性(職場で受診で きる人、妊娠中やその疑い のある人などを除く) ※定員になり次第締切。		
血液検査、尿検査、内科診 察、骨密度検査など			800円		
医療機関での検診			胃・大腸・前立腺・子宮・乳がん検診、骨密度検診、結核検診は、 医療機関でも受診できます。直接、「市の検診」と伝えて問い合わ せを。詳細は「健康と福祉ごよみ」で確認するか、健康づくり推 進課へお問い合わせください。		

日曜がん検診

▽とき 10月1日
▽ところ 弘前市保健センター
▽内容 総合検診車による胃・肺・大腸がん検診

▽対象 40歳以上の市民(職場で
受診できる人を除く)
▽定員 50人(先着順)
▽料金 1,900円(市の国保加入
者は950円、70歳以上の人は無料)
▽申込期間 9月4日～25日

定期予防接種など

【B型肝炎・ヒブ・小児肺炎球菌・4種混合・不活化ポリオ・BCG・水痘・麻しん風しん混合・日本脳炎・2種混合・子宮頸がん予防ワクチン】
通年接種です。「健康と福祉ごよみ」で接種年齢や指定医療機関を確認し、子どもの体調のよい時に計画的に接種しましょう。接種年齢から外れると有料になりますので、ご注意ください。

【高齢者肺炎球菌ワクチン】
▽実施期間 平成30年3月31日まで

▽対象
○平成30年3月31日までに65歳・70歳・75歳・80歳・85歳・90歳・95歳・100歳になる人

○本年度60歳から64歳になる人で、心臓・腎臓・呼吸器の機能および免疫機能に障がいがあり、身体障害者手帳1級程度の障がいのある人
※すでに23価肺炎球菌ワクチンの接種を受けた人は対象外。

▽費用 5,000円(自己負担)
※生活保護受給者は無料。

【おたふくかぜワクチンの接種費用助成】

▽実施期間 平成30年3月31日まで

▽対象 対象者には個別にお知らせしています。希望する場合は、期間内に忘れずに接種しましょう。
※過去におたふくかぜにかかったり、予防接種が2回済んでいる場合は対象外。

▽費用 4,000円(自己負担)
※年度内の助成は1人1回/生活保護受給者は無料。

【風しん抗体検査とワクチン接種費用を全額助成】

▽実施期間 平成30年3月31日まで

▽対象 市内に住所を有し、平成2年4月1日以前に生まれた人で、妊娠を予定している女性と、風しん抗体価が低い妊婦の同居家族。
※過去に風しんにかかったり、助成を受けたことがある場合は対象外。

▽申請方法 健康づくり推進課(弘前市保健センター内)窓口で事前申請を。

土・日曜日にも実施します

秋の狂犬病予防注射・犬の登録



犬の飼い主は、狂犬病予防法により、飼い犬の生涯1回の登録と毎年1回の狂犬病予防注射を受けることが義務付けられています。飼い犬には必ず予防注射をしましょう。
▽集合注射料金(1頭) = 3,100円(注射料2,550円、注射済票交付手数料550円) / 新規登録料(1頭) =

3,000円
■問い合わせ先 健康づくり推進課(野田2丁目、弘前市保健センター内、☎37・3750) / 若木総合支所民生課(賀田1丁目、☎82・3111、内線655) / 相馬総合支所民生課(五所字野沢、☎84・2111、内線810)

平成29年度 狂犬病予防注射日程表「秋」

月日	実施場所	時間
9月9日(土)	弘前市保健センター前	10:00～12:00
9月13日(水)	常盤野小中学校前	10:00～10:10
	百沢担い手センター前	10:25～10:35
	上弥生集会所前	10:55～11:05
	愛宕多目的集会所前	11:20～11:30
	宮地研修館前	11:40～11:50
	五代多目的集会所前	12:00～12:10
	岩木庁舎車庫前	13:20～13:35
9月14日(木)	一町田多目的集会所前	13:45～13:55
	熊嶋多目的集会所前	14:05～14:15
	駒越会館前	14:25～14:35
	つがる弘前農協旧東日屋支店前	10:00～10:10
	相馬ふれあい館前	10:35～10:45
	五所・利雪創造センター前	11:00～11:15
	兼平公民館前	11:30～11:40
9月15日(金)	鳥井野多目的集会所前	11:50～12:00
	茂森新町公民館前	13:10～13:25
	西交流センター前	13:35～13:50
	市民体育館駐車場	14:00～14:20
	市役所裾野出張所前	10:00～10:10
	つがる弘前農協旧北支店前(元鬼沢支店)	10:25～10:35
	つがる弘前農協旧高杉支店前	10:55～11:05
9月16日(土)	独狐農業研修会館前	11:15～11:25
	時苗町民会館前	11:35～11:45
	土堂集会所前	12:55～13:10
	藤代公民館前	13:20～13:30
	宮園第二団地集会所前(宮園公園向い)	13:45～14:00
	弘前市保健センター前	14:10～14:40
	市役所石川出張所前	10:00～10:20
9月25日(月)	大沢町民会館前	10:35～10:45
	堀越公民館	11:00～11:15
	マックスパリュ安原店(裏)	11:25～12:00
	千年公民館前	13:10～13:30
	千年交流センター前	13:40～13:50
	松原集会所前	14:00～14:10
	取上3丁目貴船神社前	14:25～14:40
9月26日(火)	笹館町集会所前	10:00～10:10
	市役所新和出張所前	10:30～10:40
	三省地区交流センター前	11:00～11:10
	宮館町民会館前	11:30～11:40
	市役所船沢出張所前	11:50～12:00
	向外瀬集会所前	13:10～13:25
	堅田集会所前	13:35～13:45
弘前市総合学習センター駐車場	14:00～14:30	
9月27日(水)	金属町体育センター駐車場	10:00～10:10
	桜ヶ丘中央集会所前	10:20～10:35
	緑ヶ丘集会所前	10:45～10:55
	桔梗野集会所前	11:05～11:25
	新楮町々々児童館前	11:40～11:55
	城東5丁目天理教弘前分教会前	13:05～13:20
	つがる弘前農協本店前	13:30～13:40
福田町集会所前	13:50～14:00	
つがる弘前農協徳支店前	14:15～14:25	

9月10日～16日は世界自殺予防週間です

国では、自殺について正しい知識を普及啓発することを目的に、9月10日の世界自殺予防デーから16日までの1週間を自殺予防週間としています。

■問い合わせ先 健康づくり推進課(☎37・3750)

当市の自殺の状況

当市の自殺による死亡者数は、平成21年の58人をピークに減少傾向を辿り、平成27年は23人まで減少しています(青森県保健統計年報)。

自殺者を性別で見ると、男性は40～60歳代の働き盛りに多く、女性は70歳代が多くなっています。また、



全国的な傾向ですが、20～30歳代の死因の1位は自殺であり、平均寿命の延伸のためには、自殺死亡の減少は重要な課題となっています。

自殺の原因の多くは、健康問題、経済・生活問題などさまざまな問題が複合的に関係し、1人で悩みを抱えるうちに、心理的に「追い込まれた末の死」と考えられています。そんな時、手を差し伸べ、気持ちを受け止め、専門家につなぐことが出来れば、救える命もあります。その役割を担える人を「ゲートキーパー(命の門番)」といいます。

市の取り組み

市では、ゲートキーパーを養成するため、通年で利用できる出前講座「誰でもゲートキーパー講座」を実施しています。また、講師を招いて「ゲートキーパー養成講座」も実施する予定です。自殺を示すサインや危険に気づいた時の対処方法などを学ぶことができますので、ぜひご利用ください。

